



## 私のひとこと

### 憲法九条は国民の宝

雲財 桂子

私は、悲惨な戦争体験者の一人です。

戦時中、大本営発表の勝利情報（実態は開戦 1 年足らずで敗退へ）、戦後は原発の安全神話、安保（戦争）法案成立で三度、国家権力に騙されました。

過去を学ばぬ民意無視の安倍独裁政権によって、戦後 70 年続いた平和と民主主義が、危険にさらされています。違憲の集団的自衛権容認を突破口として、改憲派が勢いづくのを、注視する必要大です。

国内各地を占拠する米軍基地は、戦争ともなれば、ミサイルが飛び交う現代、世界中の標的となり、抑止力とはなり得ません。

日本国憲法の国民主権、基本的人権の尊重、平和主義という三大原則を未来永劫、守るべきです。今後も、沖縄・辺野古での米軍巨大新基地建設、原発再稼働、TPP 問題など、自公暴走政権から、目が離せません。暴力で物ごとは、解決しません。

憲法九条は、国民の宝です。



（東灘区住吉本町）

## 違憲の「戦争法」は廃止を！

### 東灘で、全国で抗議行動続く

9 月 19 日（土）未明に、参議院で強行採決された「戦争法」は、その後も全国で抗議行動、「戦争法」廃止を求めるデモが続いています。

東灘地区においても 22 日（火、休）、JR「摂津本山」駅北側で、九条の会とは“車の両輪”の関係にある、東灘憲法共同センター主催の抗議・宣伝行動が行われ、約 50 人が参加しました。

参加した各団体の人々や個人は、次々にマイクを握り、戦争法の強行採決に強く抗議するとともに、「戦争は絶対に反対」「憲法違反の戦争法は即時廃止」「安倍自公政権は即時退陣」などを訴え、「戦争法案に賛成した議員は次の選挙で落選させよう」との訴えも出されました。

垂水区から参加した女性は「戦争法の強行に黙っておれずに参加した。政党色の出すぎや道路の両側に並んでの署名・宣伝などは気になるが、憲法九条を守り抜きたい」と語り、須磨区の男性も「日頃から無所属も含む超党派議員の連携、共同が大事」と強調していました。



「おぼあちゃんの会」に注目!

「戦争法反対」を訴える若者グループが注目される中、「孫たちの将来を案じるおぼあちゃんの会」の、9年越しの「お願い」が今夏、ネットで拡散。九条の会・ひがしなだも、貢献しました。

9月中旬までに、週刊金曜日、しんぶん赤旗、神戸新聞、朝日新聞の4誌紙に掲載され、話題に。

# 根津 茂さん、内田 樹さんからもメッセージ

9月17日(木)のJR住吉駅北側での東灘憲法共同センター主催の緊急行動の案内メールに対して、昨年、「ドイツ現代史に学ぶ講演会」の講師・根津 茂さん(真宗大谷派僧侶)と当会の顧問・内田 樹さん(神戸女学院大学名誉教授)から、次のような返信メールをいただきました。

根津 茂さん

「今、国会前にいます。ともに頑張っていきましょう」

内田 樹さん

「いつもご連絡ありがとうございます。今日は東京の参院議員会館と国会前で、学者の会として抗議行動に参加して参ります。住吉駅前と距離は離れてはおりますけれど、心を一つにして、安保法案廃案めざして頑張らしましょう。皆さまの献身的な活動に改めて敬意を表します」



朝日新聞



神戸新聞



しんぶん赤旗



週間金曜日

## 提言

## 「選挙協力」で大同団結を！！

古田晴彦

安保関連法案(戦争法案)が、強行採決で「成立」してしまった。今後に向けて、できること・しなければいけないことは、①法律が成立しても、それを使わせないこと②来年(2016年)7月の参議院選挙、次の衆議院総選挙(2018年の末?)に向けて、野党に無理やりでも選挙協力(統一候補の擁立)をするように仕向けること——この二点である。

比例代表は、民意を反映しているので問題はない。参議院の「一人区(いちにんく)」と、衆議院の小選挙区が諸悪の根源である。2013年7月の参議院選挙、31ある一人区で、自民党の候補は29勝2敗であった。(自民党が議席を取れなかったのは、沖縄県と岩手県のみ)。2012年12月と2014年12月の衆議院総選挙、小選挙区における自民党の得票率は25%ほどなのに、1位の候補者しか当選しないため、議席獲得率は79%、76%であった。この次の国政選挙も、一強多弱のまま選挙に突入したのでは、今の政治状況は変わらない。

本来ならば、リベラル護憲大同団結が望ましいが、今の野党勢力では難しい。とりあえず、沖縄モデルを、全国津々浦々に展開すること。「自民党が嫌な人、安倍政権が嫌な人は、この指止まれ」である。衆議院で3分の2を超える巨大与党が暴走しているのに、その補完をするような野党は、議会制民主主義において、その存在意義はない。分裂した維新にも、民主党の中にも、自民党出身で自民党の考えに近い議員がいるが、ここは「自分の信条」は封印し、ポーズだけでも安倍政権に反対、議会制民主主義を健全に機能させるために協力する、その姿勢を貫いてもらいたい。切なる願いである。

(関西学院高等部教諭)



弁護士深草徹の  
「ここがポイント」



## 憲法九条こそ「徴兵制」を阻止する力

先の国会で、何度か徴兵制が話題になりました。徴兵制に関する質問に対して、「バカか」と野次った下品な公明党議員もいましたが、そんなのは論外として、安倍首相の答弁も危なっかしいものでした。

安倍首相は、憲法18条は「何人も・・・その意に反する苦役に服させられない」と規定しており、徴兵制は憲法上、禁止されていると述べました。

しかし、これで安心とは言えません。憲法18条のモデルになった合衆国憲法修正13条をもつ米国では、連邦最高裁判決で徴兵制は合憲とされており、永年、徴兵制が実施されてきました。今も、いつでも徴兵制が再開できるように、選抜徴兵登録は行われています。従って、徴兵制は、その意に反する苦役の強制だとは、必ずしも言えないのです。

徴兵制は、ズバリ憲法9条に違反するのです。憲法9条は非軍事平和主義を採用していますから、国民に、軍事組織に加わり、兵役につくことを強制することは認められないのです。

憲法9条を無視して、戦争法案を強行した安倍首相は、徴兵制は憲法9条に違反する、とは言えません。ですから彼には、下心があると言わざるを得ません。

憲法9条を守りぬく力こそ、徴兵制を阻止する力なのです。

(九条の会.ひがしなだ共同代表)

### 平和随想

## 世界の宝

岩越 美恵

昨年4月、ロンドンに暮らしている娘に会いに行った時のこと。帰りは早朝の便だったので、朝5時にタクシーを予約していた。別れを告げ、ドアを開けると、タクシーはすでに玄関前で待っていた。運転手は、20代後半のアラブ系らしい青年だった。

車中、夜が空けてきた頃に、「どこの国からいらしたの?」「アフガニスタンさ」。

「いつからイギリスに?」「両親を養わないといけないのに、僕の国には働くところが全然ないんだ。それで15歳の時に1人で国を出てきたんだ。ところであなたはどこから?」「私は日本」「そうか、僕は日本が好きだ。戦争をしないし、とても精巧で、素晴らしい商品をたくさん作っているから」・・・。

1979年末からソ連に、10年にわたって集団的自衛権を理由に侵攻され、その期間、米国の計画と支援によって、国内のイスラム聖戦士と共に戦った世界中のムスリム急進派の中から、ビン・ラディンがアル・カイダを設置。その後、彼の母国・サウジアラビアへの米軍駐留問題から、2001年に9・11同時多発テロが起これり、現在はアル・カイダを擁護するタリバーン政権に対する米軍の紛争に巻き込まれている青年の祖国・・・。

「僕は日本が好きだ」——これからもそう言われる国であり続けたい。

(神戸常盤大学 教育イノベーション機構&保健科学部教授)





# 九条の会訪問記（その44） ランナーズ9の会 九条は世界の宝 走って平和をアピール



ランニングと平和を愛する仲間は国内外に500人も

平和を意味するブルーの地に、平和の尊さを訴える情熱を表わすレッドの文字からデザインされた「RUNNERS 9の会」のネーム入りランニングシャツ・パンツ姿は、集団で走るとなれば、相当なインパクトです。

9月12日（土）、東遊園地南側・噴水広場に集合した「第3弾！アベ政治を許さない！市民デモKOBÉ」の出発集会（主催者発表1,000人）でも、20人以上の集団でスピーチし、存在感を示しました。堀内照文衆院議員、福島瑞穂参院議員もスピーチし、揃ってデモの先頭に立つなど、往年の「社共共闘」を想起させるイベントだっただけに、ひととき強烈な印象を与えました。

2005年3月20日に結成。発起人の尾方素子さん（尼崎市）によれば、「ランニングと平和を愛する仲間はフランス9名、ルーマニア2名、ベルギー1名、韓国1名も含めて約500名。うち兵庫は約100名」とか。東灘区からもベテラン男性が参加して、いぶし銀の味を醸し出しています。

## 「戦争法廃案」で国際連帯 異国の地で「アベ政治を許さない」

兵頭晴喜

8月30日（日）、「戦争法案」の廃案を求める12万もの人々が国会を包囲し、全国1000カ所で抗議行動が取り組みました。

私はその日、「中国平和の旅」のツアー中で、旧満州・黒龍江省「ソ満国境」の街・黒河にいました。ツアー参加者の一人から、「私たちも8・30に呼応した取り組みをしよう」との提案があり、参加者全員が賛同。午後2時30分、提案者が準備してきた「アベ政治を許さない」ポスターを掲げました。この場所は、黒河市街を見下ろす旧日本軍の北門鎮陣地跡の丘です。この陣地跡をはじめ「ソ満国境」沿いには、17カ所の要塞跡が確認されています。ソ連からの侵入に備えて築かれた要塞でしたが、日本軍の主力部隊は早々と南方に転戦し、残ったのは、現地召集の兵隊や開拓移民の女性、子ども、老人が主でした。そのことが多くの悲劇と日本人残留孤児を生む要因となったのです。



中国から国際連帯で

（住吉宮町在住）

### 催し物案内

#### 九条の会・ひがしなだ講演会

「安倍内閣がめざす日本、日本国憲法がめざす日本」  
～2015年安保闘争の分岐に立って～

日 時：10月21日（水）18:30～  
場 所：東灘区民センター8階第1.第2会議室  
講 師：石川康宏さん（神戸女学院大学教授）  
参加協力費：500円  
主 催：九条の会・ひがしなだ  
問 合 せ：090-7366-9420（中村）

#### 「戦争と平和」絵本展

日 時：10月24日（土）13:00～  
場 所：芦屋市立上宮川文化センター  
3階大会議室  
参加費：無料  
主 催：芦屋「九条の会」  
共 催：子どもと守る9条の会  
問 合 せ：090-7118-2312（片岡）